

3人が喜ぶ1鉢の花

わい性カーネーション

母の日を前に、町内のわい性カーネーション生産農家では、5月上旬に出荷が最盛期を迎えました。

全国一の産地を誇る鉢物カーネーションは、町の特産品の一つで、シクラメンの裏作として栽培されています。感謝の心を伝える贈答用が主流で、品種は「オレンジディオ」が人気。町花き園芸組合長の峯崎正春さんは「1鉢の花で贈られた人、贈った人、生産者の3人が喜べるので幸せです」と話していました。



さまざまな運動やホッケーに挑戦

子どもいきいき運動教室



第1回子どもいきいき運動教室が5月9日、中央公民館講堂で行われ、小学生を対象に16名の子もたちが体を動かして汗を流しました。

この教室は、学校週5日制を受け、子どもたちの健全育成の場にするのが目的で、桐生かもしかスポーツクラブの安野さん、加藤さんを講師に迎え毎月第2土曜日に実施。さまざまな運動に取り組んだ後、子どもたちはホッケーに挑戦し、ゴール目指して元気いっぱい動き回りました。

生きがいのある生活を

寿学級



高齢者の生きがいのある生活と交流を目的とする「寿学級」が今年度も5月21日、中央公民館で始まりました。

41人が参加した開講式で、築比地教育長が「感動を持つ・緊張感のある生活・くよくよしない・健康に気をつける・好奇心を持つ」ような「かきくけこの人生」を送ってくださいとあいさつ。また、開講式終了後の講座では、参加者全員が、のし紙や芳名帳の書き方を学ぶなど真剣に取り組んでいました。

小学生が水の大切さ学ぶ

南大島浄水場

東小学校4年生の児童が5月24日、授業の一環で南大島浄水場を見学しました。児童たちはポンプ棟などを見学後、高さ30mの配水塔に登り、周辺の景色を楽しんだり、担当職員に水について様々な質問をするなど熱心に学びました。児童は「水の大切さがわかりました」と話していました。また、町では水道週間中の6月6日に、施設見学をしておくと、同浄水場を一般開放しました。

